



# 職場体験学習の受け入れ



## 宮川用水土地改良区

宮川用水土地改良区では毎年、次世代を担う子どもたちのために中学生を対象とした職場体験学習を受け入れています。

平成29年度は伊勢市立城田中学校の2年生4名を受け入れ、GISを利用した地図作成、測量実践、基幹施設の草刈、揚水機の点検整備、水質調査を3日間にわたって学習しました。

慣れないなか、はじめは緊張感やとまどいがありますが、後半では積極的に取り組んでいく姿に中学生の柔軟かつ若いエネルギーを感じる事ができます。

土地改良区の仕事を理解し、働くことについて考えてもらいながら、貴重な体験となるように体験学習のお手伝いをしています。



施設見学



測量実践



揚水機点検



水質調査



## イベント紹介 本会第61回通常総会

開催日／平成30年3月22日(木)  
場所／ホテルグリーンパーク津  
6階「伊勢の間」



# 事務局だより

## 支部活動報告

### 松阪支部先進地視察 研修報告について

三重県土地改良事業団体連合会松阪支部先進地視察研修を去る10月12日(木)～13日(金)に管内県、市町、土地改良区の役職員33名の参加を得て開催した。

初日の現地視察は、福井県福井市にある「道の駅 一乗谷あさくら水の駅」で足羽川堰堤土地改良区連合の吉川理事長、福井市農村計画課の宮崎主査より説明を受けた。

まず、頭首工管理事務所では吉川理事長より事業概要と取水した用水を防火・環境用水等の地域用水に利用されていることを説明された。頭首工は周辺の自然景観に調和するとともに、社会景観、歴史を反映した景観となるように整備されており、頭首工自体を管理棟からの遠隔操作により日常運転していた。近年、維持管理の面において特にパソコン等のソフト面での更新が必要となっており、役員として組合員に負担を掛けない様に経費を生み出すことに苦慮しているとのことであった。引き続き、



足羽川頭首工、一乗谷あさくら水の駅の説明の様子

宮崎主査より「一乗谷あさくら水の駅」の概要の説明を受けた。頭首工より取水した水を利用した三連水車で粉ひきやビオトープに水を供給している状況の報告を受けた。特にビオトープを通過させることにより水質の汚濁防止を図り、再び河川へ戻し下流域への環境に配慮していることであった。

二日目は、石川県小松市で行われている農地中間管理機構と連携した「県営ほ場整備事業 野田地区」で石川県南加賀農林総合事務所小谷主幹、小松市辻森主査、野田町ほ場整備組合東組合長より説明を受けた。